



うみ 議会だより



宇美町議会の新体制決まる!



No. **37** 2010.5.15 発行 福岡県宇美町議会 3月定例会

当初予算 平成22年度予算可決 ②

一般質問 ここが聞きたい9人が登壇 ⑥

新 議会構成決まる! ⑩

1万円のまちづくり

96億4,737万円 (賛成11:反対2)

歳入

(単位万円)

科目		本年	前年	比較
自主財源	町民税	15億9,754	17億4,396	▲1億4,642
	固定資産税	14億3,248	14億2,353	895
	たばこ税	1億9,470	1億8,995	475
	軽自動車税	6,681	6,273	408
	その他	9億3,189	11億7,078	▲2億3,889
	小計	42億2,342 (43.8%)	45億9,095 (50.5%)	▲3億6,753
依存財源	地方交付税	24億3,814	23億5,599	8,215
	町債	9億1,636	6億7,620	2億4,016
	国庫支出金	9億5,987	3億7,613	5億8,374
	県支出金	5億8,606	5億2,814	5,792
	地方消費税交付金	3億400	3億1,200	▲800
	その他	2億1,952	2億4,451	▲2,499
小計	54億2,395 (56.2%)	44億9,297 (49.5%)	9億3,098	
合計	96億4,737	90億8,392	5億6,345	

3月定例会

3月11日から26日までの会期で開催されました。

町長・教育委員会行政報告がありました。

議案は、人事案1件、専決処分1件、協議案5件、条例案5件、予算案11件、計23件すべて可決しました。

一般質問は9議員13項目の質問がありました。

議員提出議案3件、請願1件を審議しました。

平成22年度 重点事業

●豊かで活力ある

地域コミュニティの

基盤形成支援

◎平成22年4月から地域交流センター内にある生涯学習まちづくり推進室にコーディネート者を配置、ボランティア・町民活動の窓口とし、ボランティア活動に関する情報収集や発信、ネットワークづくりを支援。

◎各小中学校において地域による、地域のための教育、地域住民が思いやり、知恵を寄せ合う「コミュニティスクール」の推進。

●安全・安心まちづくり

◎「宇美町安全なまちづくり推進プロジェクト・チーム」で災害要援護者支援プラン、防犯対策プラン、交通安全プランの策定。

◎地震による建築物倒壊などの被害から住民の生命及び財産を保護するため「宇美町耐震改修促進計画」を策定。

◎地域の自主防災組織が町内全体に広がるような施策を展開。

●健康・環境活力あるまちづくり

◎国民健康保険の特定健康診査の対象者の利便性及び受診率の向上を図るため、集団健診に加え医療機関での個別健診も実施。

平成22年度 当初予算可決

総額 約160億4,422

～町財政の堅持に努力～

一般会計

会計別当初予算額			
一般会計		96億4,737万円	
特別会計	国民健康保険	39億1,332万円	
	老人保健	245万円	
	後期高齢者医療保険	2億8,175万円	
	流域関連公共下水道	12億4,237万円	
	上水道	収益的支出	6億2,620万円
		資本的支出	3億3,075万円

歳出

(単位万円)

科目	本年	前年	比較
民生費	28億1,483	23億2,381	4億9,102
公債費	13億1,568	12億8,137	3,431
衛生費	13億 227	13億3,581	▲ 3,354
総務費	11億1,095	10億1,505	9,590
教育費	9億7,068	10億6,587	▲ 9,519
諸支出金	7億4,956	7億6,136	▲ 1,180
土木費	6億5,713	5億8,844	6,869
消防費	3億9,869	3億7,546	2,323
議会費	1億 372	1億2,025	▲ 1,653
その他	2億2,386	2億1,650	736
合計	96億4,737	90億8,392	5億6,345

平成22年度 予算解説

経常収支比率が90%台に上昇するなど宇美町の財政状態は厳しくなり、今後も続く懸念されている。

このように厳しい状況の中でも持続可能な宇美町を目指し、職員定数及び各課の所管事業を再検討の上、平成17年度から21年度までの行財政集中改革プランを策定している。

結果、実施項目ベースにして約80%、削減効果額にして5年間の累積額約7億5千万円を達成している。

平成18年度から行政評価を実施し、平成20年度までに事務事業の約57%を点検している。

将来に向けて、事業点検、責任会計、予算の枠配分がリンクした予算制度にすべきであると認識している。

平成22年度「事業別予算制度」の編成を行い、行財政改革を一層推進するため外部の視点を採り入れ、事業の検証を行う予定。

予算編成において、1億4千万円の財源不足となり、特定事業費財政基金等から補填した。

本年度も行財政改革に取り組み町民の負託に込えていく。

◎平成22年4月から容器包装プラスチックの収集回数を月2回へ実施。

人事案件

● 議会議員選出
町監査委員 藤野 莞嗣氏

(再任)

条例審査

平成の大合併で97から60に減少

● 「前原市、二丈町、志摩町」が合併し糸島市に。「黒木町、立花町、矢部村、星野村」が合併し八女市に編入。各組合、福岡県介護保険広域連合及び福岡地区水道企業団を組織する地方公共団体の数の増減でそれぞれの規約を変更する。



▲平成の大合併による市町村増減

高齢者の減免措置継続

● 宇美町国民健康保険の一部を改正する条例は、高齢者の医療の確保に関する法律施行令の一部を改正する政令が施行したことに伴い、旧被扶養者に対する国民健康保険税の減免措置を当分の間継続するため。

(全員賛成で可決)

町長・副町長・教育長給与カット

● 宇美町特別職(町長10%・副町長7%・教育長5%)の給料月額を引き続き減額する。

(賛成10・反対3で可決)

宇美町暴力団排除条例制定

● 福岡県暴力団排除条例の趣旨に基づき、宇美町から暴力団を排除するため、町、町民及び事業者の果たすべき役割、暴力団の排除に関する基本的な施策、暴力団員等に対する利益の供与の禁止等について定めた。

(全員賛成で可決)

保育料の世帯階層区分の改正

● 宇美町立保育園の保育料徴収条例の一部を改正する条例は、保育所運営費国庫負担金における保育所徴収金基準額表の階層を7区分から8区分に変更する。

(賛成11・反対2で可決)

保育園の待機児童対策強化

● 宇美町立保育園条例の一部を改正する条例は、入所保育児童数の増加に伴い、増改築を行った早見保育園の定員を75名から90名に。

(全員賛成で可決)



▲増改築した早見保育園

意見書の提出について

住宅リフォーム助成の制度化を求める

提出議員 山野 芳則・鳴海 圭矢 計2名

住宅リフォーム制度とは住民が地元業者にリフォームを依頼した場合、経費の一部を自治体が助成するもの。国として地場中小零細業者向けの住宅リフォーム助成の制度化を要望する。

(賛成5：反対8で否決)

意見書の提出について

後期高齢者医療制度のすみやかな廃止を求める

提出議員 鳴海 圭矢・山野 芳則 計2名

政府は後期高齢者医療制度の廃止を公約に反し、先送りしている。約束していた抑制措置を講じないために、保険料の増加が予想される。政府に対して公約どおりすみやかに廃止を求める。

(賛成2：反対11で否決)

予算審査

平成22年10月稼働予定 電算業務システム構築

●平成21年3月に締結した「宇美・志免・須恵業務システム再構築事業」基本協定に基づく事業費
8,579万円

平成22年6月支給開始 子ども手当

●次代の社会を担う子どもの育ちを支援するため、平成22年度において中学校終了前までの子ども一人につき月額13,000円が支給される。

所得制限なし
対象児童数約5,500人
総額7億1,815万円



▲昭和町町営住宅

平成21年度補正予算
3,468万円を追加し
総額98億3,549万円

地域活性化 きめ細やかな 臨時交付金事業

国の平成21年度第2次補正
予算で措置された。
(全員賛成で可決)

- 桜原小学校児童保育所整備事業 2,500万円
- 早見保育園プール設置工事 230万円
- 貴船保育園門扉設置工事 120万円
- 昭和町町営住宅電気容量変更工事 996万円



▲坂本跨道橋

- 坂本跨道橋伸縮継手補修工事 350万円
- 井野本村地内水路改修工事 600万円
- 大久保林道入口舗装工事 230万円
- 平和一丁目地内道路舗装工事 850万円
- 早見10号線道路側溝改良工事 350万円
- 桜原小学校体育館倉庫漏水補修工事 200万円
- 宇美中学校体育館屋根改修工事 600万円

請願

郵政民営化の抜本見直しに関する請願

請願者 郵政産業労働組合 九州地方本部
執行委員長 森田佳人

紹介議員 鳴海 圭矢・中市 和博
岸本 光男・山野 芳則 計4名

現在の分社体制を見直し、郵政3事業が一体的に提供できるように政府が責任を持つ一社体制にするために、民営化の抜本見直しを求める請願。
(賛成4：反対9で不採択)

意見書の提出について

県政、県町村会汚職事件の徹底解明と再発防止のための県政治倫理条例制定を求める

提出議員 山野 芳則・鳴海 圭矢 計2名

福岡県町村会の汚職事件は中島前副知事と山本県町村会会長が逮捕、起訴される事態となった。知事は今回の責任を明確にし疑惑の全容解明と政治倫理条例を制定することを要求する。
(賛成2：反対11で否決)



▲委託している在宅介護支援センター

幸(高)齢社会

「集落支援員」 制度の導入を

町長：高齢者福祉計画作成



西依和彦議員

西依 本町における65歳以上の高齢化率は今後5年・10年どのように推移していくと試算しているか。
町長 宇美町の高齢化率は17・5%、5年後は20・2%、10年後は22・6%で推計している。

西依 民生委員がない行政区に民生委員を配置すべきと考えるがどうか。
町長 当町には38名の民生委員と2名の主任児童委員計40名いる。民生委員法の基準や民生委員推薦会において推薦する。
西依 宇美町には49の行政区があるが「限界集落」の基準（高齢化率50%）の行政区の数を聞きたい。
町長 当町で高齢化が高い炭焼4区45・9%、四王寺区41・2%、末広区34%で現在は、限界集落はない。

西依 2008年8月に「集落支援員」制度がスタートした。住民生活の維持や集落存続への支援を行うため地域の「目配り役」として「補助人」による集落の課題改善に期待が高まり、各地で導入が進んでいる。
同制度を宇美町で取り入れてはどうか。
町長 当町は、在宅介護支援センター職員を中心に高齢者訪問を行い、見守りの必要な高齢者は民生委員と連携。実状にあった高齢者福祉計画を今後作成したい。



古賀ひろ子議員

受診率向上

子宮頸がんワクチン 公費負担を

町長：無料クーポン今年度継続

古賀 平成21年度女性特有のがん検診無料クーポン券は対象年齢が5歳刻みになっている。少なくとも5年間は予算を確保し事業を継続すべきだ。無料クーポンの年齢別利用率と執行の見込みは。

町長 平成22年度年の補助金は2分の1に減額されている。国の指針40%の受診率に届かず、昨年の受診率を参考に本年度予算計上し、女性特有のがん検診無料クーポン事業を継続する。昨年の実績は無料クーポン対象者延2,806名。利用率は子宮頸がん18・4%、乳がん検診27・7%。町民全体の受診結果で再検査者は127名。来年度以降の継続は執行内容を見て検討したい。

古賀 子宮頸がんはワクチン接種で防げる病気。予防するためのワクチン接種を公費で助成する考えはないか。
町長 町単独で予算を確保することは困難である。今後、国において公費助成を検討されれば、近隣市町の動向をみながら検討したい。

その他の質問
●地域コミュニケーション
推進の課題

年齢別無料クーポン受診率 単位：%

	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	平均
子宮頸がん	6.0	15.4	19.7	22.4	28.6	18.4
乳がん	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	平均
	29.8	21.3	26.8	27.5	30.9	27.7

平成22年3月15日現在



年度別基金(貯金)町債(借入)地方交付税の状況

年度	基金	町債	地方交付税
16	36億7千万円	110億8千万円	29億3千万円
17	32億6千万円	112億8千万円	28億3千万円
18	23億5千万円	115億4千万円	26億5千万円
19	19億6千万円	115億0千万円	25億8千万円
20	17億5千万円	108億5千万円	24億9千万円

財政

この難局を
どう乗り越えるか

町長：5年間で7億5千万円削減



松下弘毅 議員

松下 平成16年に町債(借入)残11.1億円に対し基金(貯金)残は37億円(33%)であった。
4年後の平成20年には同10.9億円に対し同18億円(16%)に激減してしまった。
この5年間で預金残は

19億円も減少したことになる。地方交付金の年度別収入は。
町長 国からの交付金は、平成17年の28億円、18年は27億円、19年は26億円、20年は25億円、21年は25億円と年々削減され続けている。
松下 この5年間で財政健全化にどう取り組んだか。
町長 平成17年度から21年度までの行財政集中改革プランで財政健全化に取り組んだ結果、累計で7億5千万円の歳出削減ができた。
松下 これから5年後の26

年までの歳入の見込み、歳出の削減努力など財政健全化にどう取り組むのか。
町長 税収、交付税関係等どうなるか分からない状況である。
財政を破綻させるわけにはいかない。
基金をできるだけ使わず、今後5年間についても更なる集中改革プランを作って検討していく。

食育

中学校の

選択制弁当給食は

教育長…学校給食の充実



垣内京子 議員

垣内 中学校の選択制弁当給食が始まって5年。残念なことに複数の保護者から「味の改善」の要望を受けた。
委託業者に努力して頂くのが第一だが、味覚には個人差があり、その他に教育

において食育を推進する必要性を感じる。
5年間の利用状況の推移と検証は。
教育長 平成17年から順に52%、56%、65%、68%、5年目の21年度は67%利用されている。
垣内 パン利用の状況は。
教育長 2年生を調査したところ宇美中学校が8%、宇美東中学校12%、宇美南中学校2%利用している。
垣内 栄養教師の配置や食育の推進は。
教育長 栄養教師は糟屋地

区で4名採用されている。食の指導のコーディネーターとして役割を果たしてもらおう。
食育面は、管理栄養士と各学校の栄養士、県の栄養士で年間の給食の指導計画など推進している。
垣内 旬の食材利用と地産地消及び残食量の取組みは。
教育長 地元食材をより多く献立に活用していく。残食は30%程度である。
給食を通じて地場産物を活用し、地域への愛着、生産者へ感謝できるようにしたい。



▲中学校選択制弁当給食メニュー



▲宇美八幡宮

町の活性化

観光事業と道の駅

町長：関係団体と連携

中市 町の歴史と文化財を主体とした振興策について、また、老舗企業を主体とする観光事業を思いついて手を加えれば県内でも有名な観光地になるのでは。当町に訪れる観光客数とイメージアップの計画は。



中市 和博 議員

町長 平成20年度の観光客数実績で四王寺県民の森約24万6千人、宇美八幡宮約60万人、昭和の森バンガロー利用者1,300名を含め、約1万2千人。観光施設をつなぐ周遊コースの設定、交通網の整備、案内板の設置など課題が山積研究を進めたい。

中市 道の駅誘致について、県内でもトップクラスの交通量の多い県道35号線沿いに誘致すれば、地元住民や企業に大きな波及効果が生まれないか。

町長 宗像の道の駅は国道495号線と県道が隣接し、総事業費約6億5千万円、国が1億4千万円、県が5千200万円、合併特例債が約4億、残金は一般財源と聞いている。

県と十分協議しなければ県道35号線ではできない。予算や場所の問題等、困難ではあるが可能性を探っていく。

財政

当初予算のポイント

町長：財政構造の硬直化が進行



藤野 莞嗣 議員

藤野 町の財政指数を示す経常収支比率の上昇傾向は何を示しているのか。

町長 町の財政構造の硬直化が進んでいる。今しばらくはこの比率の高い水準が続くと見込んでいる。

藤野 平成22年度当初予算編成の留意点と事業別予算制度は。

町長 景気の低迷により、町税等の増収は見込めない状況下、事務事業の見直しや検証、役場内部の自己点検だけでなく、外部の目を通した「行政経営委員会」での点検や事前評価の実施を検討している。

藤野 地場産業の育成と支援は、この当初予算の中で反映されているか、公共工事・修繕費の比率はどうなっているか。

町長 一般会計・上下水道会計・21年度の繰越明許費で約7億円程度予算化している。事業・臨時交付金事業等全体地場産業支援は、地元業者を優先指名し発注、入札制度の見直しで前払い金制度や部分払いの請求の改正改善を予定している。

厳しい財政状況の中、社会補償費その他の経費も増加している。

今後は町単独の公共工事を積極的に取り組むことはなかなか難しいと考えている。



▲宇美中学校屋根補修工事予定



▲ごみ袋

公共料金

ごみ袋の料金等をもとに戻したいが

町長：ごみ減量が目的

山野 昨年ごみ袋の料金が値上げされた。公共料金としては異例とも言える、一気に3倍の値上げとなった。加えて、下水道使用料、公の施設の使用料値上げ、原則有料化も実施された。「他町にあわせてだけ」

燃えるごみ袋の料金を変えていく。燃えるごみ袋の料金を変えていく。



山野 芳則 議員

という考え方もあったのかもしれないが、その値上げ、有料化の根本について考えてみたい。

町長 ごみ袋の値上げについては平成20年の6月議会に提案して、9月議会で可決した。

その他の質問
●福祉バスの運行拡大を住民の足の確保に
●住宅リフォーム助成制度の創設で補修、改修のきっかけに

処理費の20%程度をごみ袋の収入で賄いたいと考えているが、他町並の50円を前提に価格設定した。

福祉

国民健康保険税の

引き下げを

町長：これ以上の繰入金金は困難

鳴海 圭矢 議員



鳴海 長引く不況の下、町民の生活は大変、厳しい状態にある。とりわけ国民健康保険税の負担は大きく、宇美町でも加入世帯の内、8世帯で1世帯が滞納に追い込まれている。

福岡市では国民健康保険料の引き下げを求める署名運動が行われている。国民健康保険は憲法25条にもとづく国民皆保険の土台である。宇美町の国民健康保険が誰でも安心して受けられるよう、保険税の引き下げを求めよう。

と、他の予算、他のサービスを削減せざるを得ない。国保税の引き下げについては考えていない。できれば一般会計の繰り入れを少なくする方法を検討したい。これ以上の一般会計の繰入金は困難だと思う。

その他の質問
●小学校6年生まで子ども医療費を無料に。



▲国保窓口



▲議長 白水英至



▲副議長 古賀ひろ子

平成 22 年 2 月 21 日に行われた町議会議員の選挙で、14 人の議員が決まりました。

今回は 16 人の定数を 14 人に削減しての選挙でした。

3 月 11 日の定例議会で、議長に白水英至議員、副議長に古賀ひろ子議員を選出しました。

常任委員会は 3 委員会から 2 委員会になり、新しい委員会構成も決まりました。

また、議会運営委員会委員、組合議員、議会広報特別委員会委員も決まり新たな体制でスタートしました。



▲平和 1 丁目地内法面崩壊防止工事

財政

町の財政運営戦略は

町長：改革プランは早急に策定



犬塚 齊議員

犬塚 政権交代による平成 22 年度、国の予算も成立した。財政の先行きが不安であり特に地方自治体にとって、仕事量と借金を増加する予算編成と感ずる。減収補てん債・一括交付

金特別交付税など不透明の中、宇美町の予算編成の対応と今後の財政運営戦略・長期計画を示し、町民の不安に対して答弁をお願いしたい。
町長 この交付金事業では、事務作業量は増大したが、平成 20 年・21 年度の地域活性化臨時交付金で公共工事に着手できたのは大変大きな効果であった。臨時財政対策債は、後年度 100% 交付税で充当される。その他、今年度の起債発

行は後年度、それぞれの割合で交付税措置される。国の補助金・交付金を一括して交付する一括交付金は平成 23 年度以降から徐々に実施される見透しである。
平成 22 年度から町の改革プランを早急に策定していきたい。

議会運営委員会

議会の運営や活動のあり方について問題点をとらえて調査研究し、より適正円滑な議会運営に資する権限があります。

- 委員長 古賀ひろ子
- 副委員長 犬塚 齊
- 委員 藤木 匠
- 委員 垣内 京子
- 委員 鳴海 圭矢

建設厚生常任委員会

住民課、健康福祉課、環境課、建設課、上下水道課、地域振興課の調査、審査をする委員会です。



副委員長	委員	委員	委員	委員	委員
西依	松下	委員長	藤野	鳴海	岸本
和彦	弘毅	藤木	莞嗣	圭矢	光男
		匠	中市	和博	

総務文教常任委員会

政策経営課、総務課、税務課、学校教育課、社会教育課、会計室の調査、審査をする委員会です。



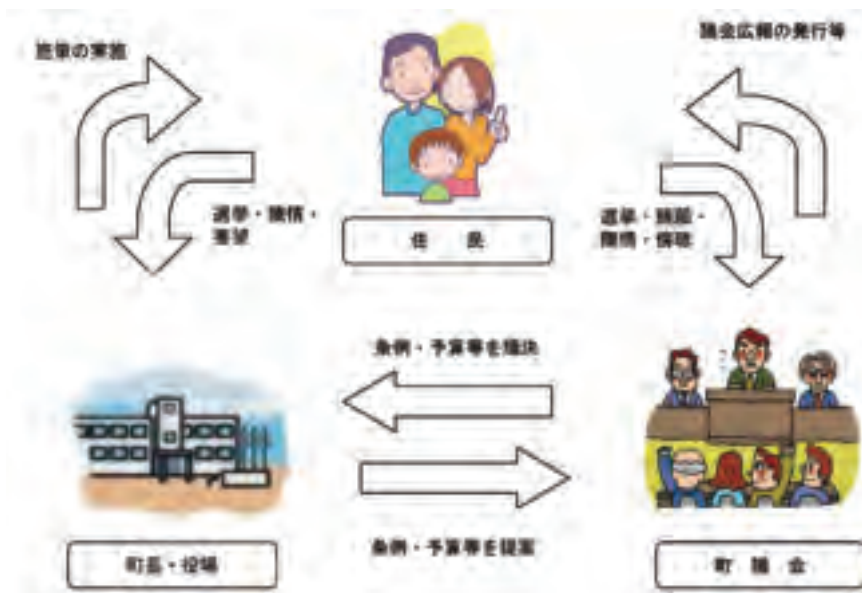
委員	委員	副委員長	委員	委員
山野	飛賀	垣内	櫻木	古賀ひろ子
芳則	貴夫	京子	悟	
	犬塚	齊		

町議会の役割

私たちの宇美町をより快適で住みよいまちにするためには、地域社会の問題について、住民すべてが集まり、町政を運営することは困難ですので、住民の代表である町議会や町長が中心となって町政を運営しています。

町議会は町政の方針を決定したり、町政が適正に行われているかをチェックします。

町議会と町長は独立・対等な立場にあり、お互いにけん制・協力し合ってより良い町政の実現を目指しています。



議会選出 組合議会議員

北筑昇華苑組合議会議員
藤木 匠

柏屋南部消防組合議会議員
白水 英至
犬塚 齊

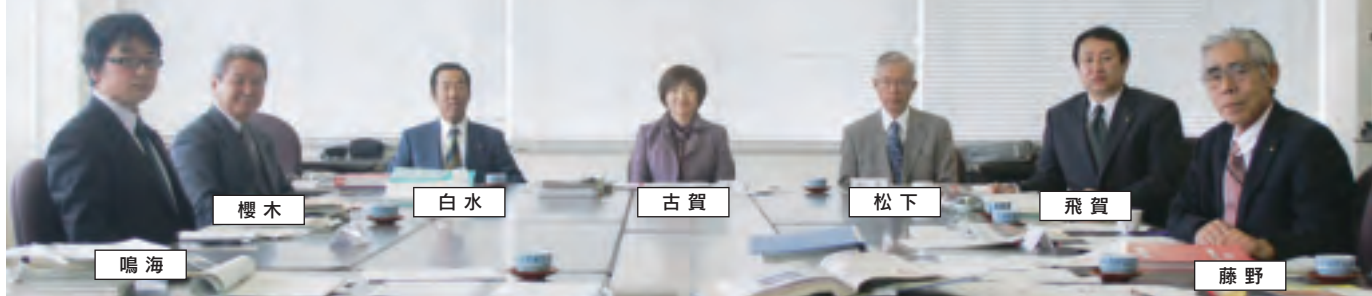
宇美町・志免町衛生施設
組合議会議員
白水 英至・松下 弘毅
藤野 莞嗣・西依 和彦
垣内 京子・飛賀 貴夫

福岡県介護保険広域連合
議会議員
安川 博

福岡県後期高齢者医療
連合議会議員
安川 博



4年間よろしくお願ひします。



議会からのお知らせ

議会を傍聴しませんか!

議会は年4回(3月・6月・9月・12月)に定例議会が開かれます。

複雑な手続きは必要ありません。

役場3階の傍聴席入口で住所・氏名を記入し、ご入場ください。

次回の定例議会は、6月中旬に開会予定です。

※ 詳しくは5月下旬に宇美町議会事務局(TEL092-934-2248)までお問い合わせください。

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。

【議会広報特別委員会】

【発行責任者】

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長
鳴海	飛賀	櫻木	藤野	松下	古賀	白水
圭	貴	悟	莞	弘	ひろ子	英
矢	夫		嗣	毅		至



BEST SHOT

ベストショット うみ

昭和の森 花満開!



◇発行・福岡県宇美町議会
◇編集・議会広報特別委員会
◇発行日・平成22年5月15日

◇印刷・株四ヶ所

〒811-2192 福岡県糟屋郡宇美町5丁目1番1号
TEL 092-934-2248 FAX 092-933-2281
E-Mail gikai@mail.town.umi.fukuoka.jp